



# 幼児教育センターだより

No.9

富山県教育委員会 教育みらい室 小中学校課  
富山県幼児教育センター

11月に、県内4地区で地区別幼児教育・小学校教育接続研修会を行いました。今年度は、市町村の幼児教育主管課及び教育委員会のみなさんが、協議のグループ作りや会場設営等を担当してくださいました。

【参加者】幼児教育施設から154名、小学校等から122名、行政から19名

【内 容】①幼児と児童が興味をもっていることを写真等で紹介し、子どもの姿について共有

②保育と教育のねらいを確認

③「秋の自然」をテーマに交流活動を計画

④各班の幼児と児童が共に学び合える交流活動の工夫を紹介



グループ協議の様子



協議後の発表の様子

日頃から関わりのある園・所・校の先生方でグループが構成されていたので、熱心な話し合いが広がりました。予定している交流の計画を具体的に進めようとしているグループ、来年度の実行に向けて、できることを明確にしていくグループ等、「子どもたちのためにできること」を考え合う先生方の生き生きした姿が見られました。

## 【研修後のアンケートより】

これまで小学生との交流活動を行っていたが、事前や事後に子どもたちの姿や遊びの様子等、情報を共有するという点が不十分だったと反省した。

保育でも子どもたちとの対話を大切にされているが、私たち自身もそれぞれの専門家として対話をし、互いに学び合いながら、子どもたちにとって意味のある活動となるような実践をしていきたい。

（幼児教育施設の先生より）

保育のねらいと学習のねらいを相互に理解し、これまでの幼児、児童の学びを生かして活動内容を考えることが大事であると分かった。

今後は、児童が幼児に何かをしてあげる活動ではなく、幼児、児童が共に学び、それぞれのねらいを達成できるように活動や手立てを考えていくことを大切にしたい。

（小学校の先生より）

同じ地区の先生方が交流活動を話し合うことで、今後の活動に生かすことができること、互いの思いや実際の活動についても共有できたことがよかった。

最後に他市の発表を見たことで、どのように計画を立てているかを知ることができてよかった。

運営側として今回のことを参考にして取り組んでいきたい。

（市町村幼児教育担当者より）

## 〈お知らせ〉

令和8年度幼児教育施設訪問研について、実施要項等の配布は年明けを予定しています。